

カルミア





おもいのツボ…………… 2

特集

園 祭…………… 3

旅 行……………11



1/4
5

おもいのツボ

「おもいのツボ」は毎号さやま園の職員がその時自身のツボにきた出来事や感じたことを書く企画です。

10月1日付けで着任いたしました茂木康子と申します。

板橋区の通所施設、東久留米市の身体障害者福祉センターでの勤務を経て、この度さやま園で一緒させていただくことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

5年ぶりの電車通勤、車内でスマホは見ない!と決めて、車窓からの景色と人間観察を楽しむことにしました。すると早速、目の前に「かぎ針編み」をしている女性が!金色に輝くかぎ針と、柔らかい色合いの毛糸を目にした途端、一気に幼少の頃の思い出が蘇ってきました。母だったか姉だったか、はたまた知人かに手ほどきしてもらい一生懸命かぎ針で編んだこと、新しい毛糸を買ってもらいもの凄く嬉しかったこと、結局完成には至らずほどいて毛糸玉ばかり増えたこと……。

世の中もの凄いスピードで進んでいますが、時には少し立ち止まり、懐かしい気憶をたどってみるのもいいかもしれません。かぎ針と毛糸、買ってみようかな。こんな想いにさせてくれた電車内のご婦人に感謝です。

さて、今日も人間観察、ワクワクしています。

副園長 茂木康子





職員がAIで作成した
園祭のポスター

復活のさやま園祭

10月19日(日)、ついに「3園合同さやま園祭」*が開催されました！

今年のテーマは「復活」。ポスターにも復活の象徴であるフェニックスが輝いています。コロナによる影響で5年、合同開催と地域開放ができない状況でしたが、ようやく戻ってまいりました。

当日は曇り空からのスタートとなりましたが、幸いにも涼しく心地よい気温で過ごすことができました。さやま園の中庭には、近隣施設による(ラ・メール、ライブリイ工房、さいわい福祉センター、東村山生活実習所) お菓子や手芸品の模擬店、イラストレーター、ほっしーさんによる似顔絵の出店がありました。さやま園からはカレーやチョコバナナ等の飲食の模擬店を出店、利用者さんの呼び込みとともにイベントを盛り上げました。

模擬店で売りに励む利用者さん、満面の笑みで過ごす利用者さんの表情を少しだけにはなりますが、カルミアでご覧いただければと思います。

*さやま園(障害者支援施設)、ひかり苑(特別養護老人ホーム)、サンホーム(軽費老人ホーム)3園合同のお祭り





さやま園の調理さんオリジナルチョコバナナ。お菓子で丁寧
に表情をつけており、「どの顔にしよう？」と利用者さんも
職員もワクワクしながら選んでいました。



ほっしーさんが描く似顔絵は、
翌日以降の発送となるほど
大人気でした。



3園合同のスタンプラリーも開催。普段は訪れる
ことの少ない隣の施設と交流が図れました。



ステージショーでは、太鼓打ちシンゴさんの演奏、はてるまささんの沖縄音楽の演奏、東京ヴェルディさんの体操
が行われました。写真は東京ヴェルディさんの体操の様子とそれを見ている利用者さん。



アトリエでは裁縫作品・編み物・ダイヤモンドアート等を、陶芸では蚊やり・食器・マグネットアート等を展示
販売しました。利用者さんの独創的な発想から生み出される作品は見る人を驚かせていました。

さやま園祭インタビュー

5年ぶりとなる3園合同「さやま園祭」。

職員やボランティアの方々から色々な意見があがりました。今年度初めて参加したつくしグループの原島職員と、昔の園祭を知る、あんずグループの金井主任に、感想を聞いてみました。

原島職員（つくしグループ）

Q1 初めて3園合同のさやま園祭に参加した感想を聞かせてください

天気もなんとかもって、利用者さん・職員ともに明るい笑顔で過ごしていた印象です。とても賑やかで参加できてよかったです。

Q2 担当したブースはどこですか？

午前中は、フランクフルトの販売を担当しました。午後は利用者さんと一緒に、各模擬店を周りながらお祭りに参加しました。

Q3 フランクフルトの販売を担当していたかができましたか？

一緒に販売していた利用者さんが人見知りもせずに接客対応をしていたことが、すばらしかったです。職員も後押しされながら販売しました。

Q4 午後は利用者さんと一緒に回ってみたいかができましたか？

利用者さんが制作した作品を見ているときに一緒に回った利用者さんが一目ぼれをしたようで、実際に購入をしていました。利用者さんが制作したものを違う利用者さんが購入している場面を見て、お互いを認め合う感じがしてとてもよかったです。

Q5 来年のさやま園祭で担当したいブースはありますか？

今回模擬店の販売をして楽しかったので、また模擬店があれば販売に参加したいです。



建物の反対側まで届くほど、声を張り上げフランクフルトの販売を手伝う1さん。お客さんをおもてなしたい気持ちが伝わってきました。



金井主任(あんずグループ)

Q1 5年ぶりに3園合同のさやま園祭が開催された感想を聞かせてください

お祭りが盛況で、よかったです。

お祭りと同時に、ひかり苑の施設見学も実施しており、さやま園の家族も見学に参加されました。なかなか行く機会がないので、他施設の様子を知れて良かったと家族の方が話されていました。いい機会だったと思います。

Q2 担当したブースはどこですか？

家族と一緒に周る利用者の誘導など対応していました。

Q3 以前と比べて今年度のさやま園祭はどうでしたか？

以前と同じように、外部の販売も賑わっていて良かったです。とくに、ホールで行われていた東京ヴェルディの体操がすごく好評でした。地域の人もさやま園の利用者さんも大勢の人

が参加していたのが印象的でした。

Q4 参加している利用者さんの様子はどうか？

以前のさやま園祭と同じように楽しまれていました。特に家族が来園した利用者さんは一緒に過ごす時間を楽しまれました。

Q5 お祭りを通して地域の方との関わりは感じましたか？

地域の人たちが大勢お祭りに参加していて、以前の活気が戻っていました。利用者さんも地域の人達と交流できていたと思います。

Q6 来年度以降のさやま園祭でやってみたい企画はありますか？

利用者さんによって食事形態が違ったり大変だと思うけれど、地域の人も含め、家族と利用者さんが一緒に食事をとれるといいなと感じました。

さやま園祭とは？

金井主任や原島職員のみならず「復活のさやま園祭」だからこそ様々な意見が聞かれました。「以前の園祭と比べたら来園者は少なく感じた。以前は足の踏み場がなく、利用者さんの場所が分からないほど人が多かった。」との声や、ボランティア交流会でも「今後の本気のさやま園祭に期待している。コロナ以前の活気をまた見たい。」といった意見がありました。

コロナ禍のさやま園祭は利用者さんいかに楽しんでもらえるか、職員がしこうさくご試行錯誤を重ね取り組んできた時代だったと思います。

たしかに今年度のさやま園祭はコロナ禍前と比べれば規模が小さいものだったかもしれません。けれど利用者さんとご家族がさやま園の外（ひかり苑・サンホーム）まであるブースと一緒にまわり、さやま園名物チョコバナナを食べたり、催し物を見たりすることができました。通常面会ですらアクリル板越しであった



閉会後に行われたボランティア交流会の様子。今年は元職員も含めた27名が参加し、模擬店の売り子や利用者さんの買い物の付添いを手伝っていただきました。

時期を振り返ると大きな前進です。ご家族と一緒に過ごす利用者さんの笑顔が何よりの証拠だと感じました。

そして今年度は家族のみならず外部の方にも協力を仰ぎ、ボランティア27名の方に参加していただき、交流を図ることができました。ボランティアの中には元職員のみならず、学生の方も数名いらっしゃいました。

さやま園の外から来た人と協力して利用者さんがブースで売子をする。来園いただいた地域の皆様に商品をお渡しするといったちょっとしたやり取りだったかもしれませんが、気軽にさやま園の外にお出かけできなかったコロナ禍と比べるとこちらも大きな前進です。

「さやま園に足を運んでもらい、さやま園で暮らす私たちを知ってもらう」福祉職でなければ、家族が施設を利用していなければ、足を運ぶことはあまりないのではないかと思えます。けれどもさやま園祭というお祭りであれば、気軽に覗いてみる（のぞ）ことができるのではないのでしょうか。来年はもっと多くの方とお会いできるのを楽しみに、さやま園でお待ちしています。



チョコバナナを待ってご家族と楽しい時間を過ごす利用者さん。

ボランティアさんと売子をする利用者さん。いつもと違う素敵な一面が見られました。



今年のテーマ
「大きい物を作ってみよう！」から
生まれた蚊やり



動物をはじめ、飛行機、いちご、
果てはお寿司まで蚊やりにしてしまう
皆さんのユニークな発想に脱帽です！

園祭 with 陶芸

毎年園祭では利用者さんが作った陶芸作品の展示販売が行われています。その都度テーマを設け、素敵な作品を作っている陶芸チーム。

今年度はなんといってもコロナ禍以降初の3園合同の大規模な園祭です。今回の園祭に向けてどんな意気込みがあったのか？

陶芸の川島先生にお尋ねしました。



川島先生

Q1 先生のお名前をおしえてください。

川島潤子（かわしま じゅんこ）です。

Q2 さやま園に来て何年目ですか？園祭は何

回目ですか？

さやま園に来てから6年目です。

園祭は、1年目は3園合同の園祭に参加し、陶芸のワークショップを行いました。2年目以降は小規模な園祭で、今回で大規模な園祭は2回目となります。

Q3 今年度の園祭での陶芸作品のテーマなど

あったら教えてください

今年のテーマは「大きい物を作ってみよう」です。陶芸活動の中で、自分用のマグカップを制作したりと小さい作品が中心だったので、次は大きなものを利用者さんに作って欲しいという気持ちがありました。（チャレンジ精神）
（※テーマに関しては日中活動の職員からの提案や、利用者さんの希望が入ることもあります。）



一昨年のケーキをテーマに作成した陶芸作品



昨年のハロウィンをテーマにした陶芸作品

Q4 今までやってきた過去のテーマなども教えてください。

昨年はハロウィンがテーマで一昨年はケーキがテーマでした。

Q5 園祭に向けてどれくらいの期間準備をしてきましたか？

陶芸の作品を作るのは時間がかかるので、今年度の初めから準備をしてきました。簡単なケースでも、形作り↓素焼き↓色塗り↓本焼きなど、工程が多数あるので。

Q6 利用者さんが作品を制作するにあたって、難しいと感じたことはありましたか？

利用者さんが作りたい物が分からない、作りたい物を訊^きくが答えられない場面が多く、職員に聞き取りをお願いすることがあります。自分の知^ちっているもの、作^つた事のあるものを希望されるので、初めは「お皿」という意見が多く出ていました。そのため本や他の利用者さんの作品など、色々な作品を見てもらい、皆さんの知見を増やす試みをしました。そうすると、これを真似したいという意見が多く出てきます。〇〇さんより大きい物を作りたい！と意気込むエピソードもありました。

Q7 最後に作品の「いいが見所」などありましたら教えてください。

利用者さん特有の個性あふれる作品が見所です。

色がシンプルだけど形が個性的、形がシンプルだけど色が個性的なのも魅力です。今回は来客者が沢山来ると予測して、今年作った作品だけでは足りないと思います、去年の作品も販売しました。たくさん購入していただき嬉しかったです。



コロナ禍以降行けなかった
宿泊旅行の再開です！

久しぶりの一泊旅行の様子を
一部ご紹介します。

「山梨・石和温泉旅行の巻」

あんず・かえでグループ

2019年以來となった今回の旅行。あんず・かえでグループでは9月に6名の利用者さんが「山梨・石和温泉」へ1泊でお出かけをしてみました！

1日目から山梨名物「ほうとう」、ハーブ庭園・河口湖」散策、そして貸し切り温泉を満喫。2日目も工場見学に、フルーツパーク散策と盛りだくさんでしたが、参加された皆さん、とても楽しまれたようでした。





旅館での食事風景



旅館でのひと時、お部屋でピース！



信玄餅の工場見学



寝起きをバチリ！



河口湖で記念撮影



参加されたYさん、インタビュー

職員：久しぶりの旅行でしたが、楽しかったですか？

Yさん：楽しかった。ほうとうをたくさん食べただけど、美味しくて良かったです。

あとたくさんお土産を買いました。

職員：ご家族にお土産を購入してお渡ししてましたよね。自分には何か買いましたか？

Yさん：ハンカチやキーホルダーを買いました。

お土産はたくさん買うことができたけど、富士山が見えなくてちよつと残念だったなあ。

職員：それは残念でしたね。またいつか見ることもできると良いですね。

Yさん：コロナ前には草津や某テーマパークにも行ったりしていたから、また色々なところに出かけたいな。

職員：これからまた色々な場所にお出かけしていきたいですね。お時間ありがとうございます。





「ようこそ、夢の国へ！」
すみれグループ

9月すみれグループでは、ディズニーランドへ1泊2日の旅行へ行ってきました。朝10時にはさやま園を出発し、初日はアトラクションやレストランで夢の国を堪能。2日目はイクスピアリでお土産を購入したり、リゾートラインに乗ったりとディズニーの世界を楽しんできました。

絶叫系アトラクションに強いMさんは、ビッグサンダーマウンテンに乗るとびきりの笑顔を見せ、「うおー！」と叫びながら急降下を楽しんでいました。

また初めての旅行となるWさんは、ミッキーのカチューシャを積極的に装着したり、フライドポテトを一つずつ味わったりと、職員の知らなかった一面を見せてくれました。



ジェットコースターに乗れたMさんは満足な様子。



初めての旅行体験となったWさん。満面の笑顔でアトラクションも食事も楽しまれました。



リゾートライン、偶然乗ることができたダッフィ20周年記念車両。ディズニーもダッフィも好きなSさんは大変喜び、景色を眺めながらその時間を味わっていました。



マークトウェイン号から手を振る一行。知らない人同士が手を振り合うという文化は新鮮な体験だったようです。



キャラクターの耳を付けて満足そうなOさん。その耳は今部屋に飾られています。

帰園後、利用者さんに次はどこに行きたいか聞くと「次はファンタジースプリングスだね。アナのアトラクションに乗りたい。」「ベイマックスにも乗りたい。」「とワクワクしながら話していました。利用者さんから、そして職員からも「とにかく楽しかった」という声が聞かれた今回の旅行。今後も、全員が楽しめるようにイベントを企画していきます。

2日目はイクスピアリでお土産を購入、自分で買う人もいれば、家族用に買う人もいて、それぞれの形で思い出を持ち帰っています。リゾートラインへも向かい、奇跡的にダッフィ20周年特別ラッピングへ遭遇。ダッフィ好きのSさんは、職員にキャラクターを一つずつ説明してくれるほど喜んでいました。

当日は30度を超える夏日となり、歩き回るだけでヘトヘトの気温でした。しかし夜はホテルからうっとり夜景を眺めるほど、ディズニーに満足できたようでした。

職員募集！

さやま園では私たちと一緒に働いてくれる方を募集しています。
ご興味のある方はホームページのお問い合わせフォームかお電話でご連絡ください。

職種：生活支援員

- 常勤職員（契約社員）18歳~70歳まで 月給¥238,300
シフト制による週休2日（夜勤あり）
 - パート職員 18歳~70歳まで 時給¥1,226~
シフト制（時間相談可） *正社員登用あり
- *未経験者可（研修が充実しているので安心して働けます。）



さやま園のホームページの
求人に関するお問い合わせ
を選択し、ご連絡ください。

<https://sayamaen.com/new-contact>

問い合わせ先 TEL：042-391-3275

リクルート担当：三瓶・対馬・茂木

ボランティアさん募集！

さやま園では様々な活動をしています。
そのお手伝いをしてくださる以下のボラン
ティアさんを募集しています。

作業内容：季節に合った装飾作り

活動日時：平日の13:30~15:30

- 利用者さんが余暇の時間に制作する、季節の装飾作りの土台となるものを制作していただける方を募集しています。
- 活動に入る前に、職員より、活動の流れ等を簡単に説明します。
- ボランティアの皆さんには、下絵を描いてもらったり、装飾のパーツを作ってもらったり、利用者さんが簡単に制作に取り掛かりやすいよう装飾作りの準備をお願いしたいです。

寄付のお願い

依頼品目：消毒用タオル

感染症予防のための園内消毒に使用する布が不足しています。いらなくなったタオルを**手のひらサイズ**に**切ってご持参**いただくと助かります。

問い合わせ先 TEL：042-391-3275

ボランティア担当：奥山

リクルート担当：三瓶・対馬・茂木

編集後記

コロナウイルス流行以降、初となる3施設合同での「さやま園祭」が開催されました。私は夜勤明けということもあり、当日1日通して参加することはできなかったのですが…。

園祭準備期間中、利用者さんとさやま園祭のポスター配りに出かける機会がありました。

そこで「今年は大々的に開催するんですね、楽しみです」であったり、「2枚ポスターをいただければ店内、店外どちらにも掲示しますよ」といった言葉をいただきました。地域のみなさんに「さやま園祭」が根付いているんだなど嬉しく、そして有難く思った瞬間でした。

カルミア227号にて当日の熱気をご覧いただき、是非来年以降も、足を運んでいただければと思います。

広報委員：野島

発行元：指定障害者支援施設 さやま園

発行責任者：三瓶達矢

住所：〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-7-13

TEL：042-391-3275 ・ FAX：042-391-3276

さやま園のホームページ

<https://sayamaen.com>

